

## IV 自動車総連運動を支える人材基盤の確立と総合力の発揮

- ・自動車総連の活動推進は、他産別の本部と比較してもコンパクトな本部の人員体制に、12労連との一体的活動が加わった総合力が持ち味である。本部役職員の人材育成をより強化し、個々の能力を高めることにより、更なる総合力の向上を図り、効率的かつ効果的な機関運営を定着させるとともに、新たな課題に対応できる体制を整備する必要がある。
- ・また、今後自動車総連の掲げる政策実現に向けた活動を推進していくため、限られたリソースを有効活用し、連合本部、地方連合会、連合地域協議会とのより一層の連携を図る必要がある。従って、自動車総連の活動期を連合と合わせる準備を進めていく。
- ・更に、第22期あり方委員会答申を踏まえつつ、自動車総連派遣を含む、積極的な上・外部への派遣役員の配置を検討していくなど、人材育成面でも自動車総連と労連が一体的な取り組みを進めていく。

### 1. 上部団体の運動との運動に向けた取り組み〈重点〉

- ・自動車総連運動の一層の充実・強化を目指し活動を推進していくためには、上部団体との更なる連携が必要である。
- ・具体的には、現状、連合本部、地方連合会への専従役員派遣、各種委員の登録などについては自動車総連の中間期で実施している実態や、ほぼ全ての地方連合会で2015年までに連合本部と同一期になることなどを踏まえ、より円滑な各種役員などの選出や計画的な人材育成と配置、更には活動の充実につながり得る検討と対応が必要である。
- ・こうした背景や今後なお一層全国台で自動車産別としての役割と責任を果たすためにも、2016年9月からの自動車総連の活動期を1年で実施し、2017年9月（第27期）に連合本部とあわせる。
- ・なお、第25期については、自動車総連本部、労連、単組が今後スムーズに移行準備ができるように連携を図っていく。

## 2. 計画的な役職員の育成と人的資源を活かすネットワークづくり

- ・自動車総連運動を支える人材基盤の確立には、自動車総連としての計画的な人材育成が重要である。自動車総連本部役職員の個々の能力を高めつつ、自動車総連としての更なる総合力の向上を図っていく。加えて、各労連からの自動車総連への派遣について、人材育成の観点も踏まえ、計画的な派遣を労連に求めるとともに、適切な配置を進めていく。更に、連合、金属労協等が主催する組合役員研修参加の推進をしていく。
- ・また、全国台の労働運動の中での産別として役割を果たすため、連合への役員配置など、上・外部に対する中期的な適切かつ積極的な派遣役員の配置検討とその実践にも取り組む。
- ・自動車総連本部と、地方連合会派遣役員、労働福祉事業団体派遣役員と従来以上に連携を深め、自動車総連の運動を推進していく上での人的ネットワーク充実を図る。
- ・また、自動車総連OB会組織へは定期的な情報提供など継続的な連携を図る。

## 3. View-well Squareを拠点とした自動車総連と労連の一体的な活動の推進

- ・自動車総連本部View-well Squareは「さらなる飛躍に向けた、結集の象徴」「将来に活動を託せる新たな拠点」「集まりやすく、使いやすい新たな政策発信拠点」をコンセプトに2012年5月に竣工し、12労連・単組、自動車総連地協などの諸会議や研修会場として年々利用も拡大している。引き続きコンセプトに基づく拠点として広く自動車総連内にその有効活用を促していく。
- ・情報発信については、ホームページ等を通じ、自動車総連の日々の活動や自動車総連の掲げる政策等について、タイムリーに発信していく。
- ・また、自動車総連新聞については、見やすさや扱いやすさ等に配慮するとともにその時期のトピック等の掲載も進め、FAXニュースについてはタイムリーに発行する。
- ・財政面では、第24期前半期自動車総連「財政検討委員会」答申を踏まえ、上部団体会費の動向を注視しつつ、引き続き効率的かつ効果的な予算を立案し執行していく。